

6月24日・夜に

見直しの対象

「長電バス保科温泉線廃止説明会・存続要望集会」を開催します



存続に向けて利用者・地元の声を!

長電バス(株)が保科温泉線を含む8路線について、赤字を理由に廃止を含む見直しを表明。「屋代線が廃止されてまだ2年、こんどはバスか・・・」と、若穂では地域の将来に不安の声が広がっています。説明会は長電バスからの状況説明で、まだ廃止が決まったわけではありません。若穂の公共交通を守るため利用者や地元の声を訴えましょう。

《長電バス保科温泉線廃止説明会・存続要望集会》

- 日 時 6月24日(火) 18:30~
- 会 場 若穂支所2階会議室
- 議 題 長電バス保科線温泉廃止(見直し)について
 - (1) 長電バスからの説明
 - (2) 長野市交通政策課からの説明
 - (3) 質問・意見・要望

【問】若穂地区住民自治協議会 (☎ 050-3583-5700)

＝将来世代に対する責任です。利用者、区長はじめ多数のご参加を！＝

保科・川田の「足」が危ない! いずれ他の路線も? 存続には行政支援が必要・・・



(保科温泉前のバス停)

【6月6日の保科温泉発6:45に乗ってみました】

平日の通勤・通学時間帯です。若穂からの乗客は全部で24人(男7・女17)。バス停別乗車数は保科温泉(1)―竹内商店(1)―保科小学校(1)―若穂団地上(1)―若穂団地(4)―小出入口(2)―大門(1)―川田駅(7)―領家(1)―牛島(5)でした。保科・川田地区にとって貴重な公共交通です。

少子化・人口減で赤字路線は今後増える予想され、他の路線もまさに危機的。行政支援を含め地域一丸の対応が必要となっています。 《事務局》

ほんわか・ほ通信

号外(26・06・11発行) 全戸配布
若穂地区住民自治協議会